

こくさいは にほんじん
国際派日本人養成講座
 伊勢雅臣

自画像を描く権利

フランス革命の遠隔作用のもとに なしとげられたと言われる明治維新の実態とは。

1. 幸福そうなフランス人

ワールドカップの喧嘩のさなか、ある国際会議に出席するために筆者はパリにいた。フランスが決勝リーグで勝ち進んでいた時期で、一試合勝つ毎に、多くの若者が車から半身を乗り出して国旗を掲げるため、クラクションを鳴らしながら、シャゼリゼー通りを走り回っていた。



戦闘の回廊 (wikipedia commons)

そんな光景をぼんやり見ているうちに、ふとフランス人は日本人より幸福そうだなと思った。東京や大阪なら二日の勤めを終え、疲れ切った表情のサラリーマンやOLが多い。経済的にはフランスは日本よりも貧しく小さな国なのに、なぜ人々はこんなに満足しているのだろうか。人々は自信と余裕に満ちた表情で、それぞれの生活を楽しんでいるように見える。

今の日本が不景気で、明日への展望が見えないせいだろうか。いや、高度成長の頃も、パリの絶頂期でも、仕事に忙殺されるだけで、ゆとりや落ち着き、自信などというものはなかったように思う。

2. フランス人の自画像

フランス人の落ち着きと自信はどこから来るのか？ そのヒントは、翌日見物したベルサイユ宮殿で見つけた。その壮麗な建物の南翼は、長さ100メートル、幅7.8メートル、高さ10メートルほどの「戦闘の回廊」となっており、天まで届く油絵がずらりと並んで、フランス王国の歴史の場面を描いている。

3. 革命の犠牲者200万人

数年前華々しく二百年祭を挙げてフランス革命も、その栄光の歴史の輝かしい一頁である。

4. 革命の暴走・迷走

「自由、平等、博愛」という人権宣言の精神ですら、その作者はオランダとの交渉の中で、こう語ったと伝えられている。

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心がもてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。
 (ニッケイ新聞編集部)

わが明治維新も、この革命の遠隔作用のもとになしとげられたと言える。しかし、この偉大な革命の真価が日本人に理解されるまでには、長い年月が必要であった。[1, p4]

と賞賛されるフランス革命だが、その内実は反乱暴動、虐殺、政治裁判、ギロチン、陰謀、暗殺、戦争がうんざりするほど延々と続く。革命政府のカトリック教会弾圧やルイ16世幽閉に反対して立ち上がったフランス西部ウェンデ地方の農民は徹底的に掃討された。

ウェンデはもはや存在しない。女子供もともわれわれの自由の剣のもとに死んだのだ。私は彼らをサヴネの沼に葬った。子供たちを馬で踏みつぶし、女たちを虐待したから、野蠻が生まれることもない。囚人を一人でも残したと咎められるようなことはしていない。すべて処分した。道という道は死体で埋まっている。死体が多すぎるので、何ヶ所かではピラミッドのように積み上げねばならなかった。

この地方を組織的に破壊し、反乱者を殺戮するよう命じた国民公会の指示を忠実に実行したフランス王・ウエステルマン将軍の報告である。大砲の処刑船倉に閉じ込められたまま溺死し、子供を馬で蹴り殺す刑等々、犠牲者は約40万人に上る。

また都市部ではギロチンによる粛正の嵐が続いた。グレーブ広場で、ついで革命広場と転覆王座の壁でギロチンがたえまなく動きつづき、多いときには連日5、60人の犠牲者が荷馬車で運ばれてきた。パリでは、革命政府が活動を始めた1793年3月から、「テルミドール9日のクーデター」でロベスピエールが没落する1794年7月までに、1862名が処刑された。テルミドール後の処刑まで含めると最終的には2639名が犠牲となった。

斬首されたのは、貴族よりも職人や小商店主の方が多く、狂信というより憎悪から処刑が行われた。このような恐怖政治が、各地で行われた。最終的な犠牲者は200万人に上ると推定されている。[2]

そのさい、フランス側の過酷な条件をおしつけて、24時間以内の回答を強要した代表は、ほかならぬシエースであった。オランダ代表が、「人権宣言」の作者が弱国をこんなにいじめるのは、どうしたことかと嘆いたのに対して、シエースは平然として、「原理は学校のためにある。権益は国家のためにある」と答えたという。[1, p31]

前節の農民虐殺や恐怖政治を見れば、シエースの言葉を待たずとも、「自由、平等、博愛」がいかに革命の実体とかけ離れた空虚なスローガンであったかがわかる。

フランス革命が最初から王政打倒を狙ったものではなかったのは、革命のシンボル、三色旗の真中にブルボン王家を象徴する白を挿入している事からも明らかである。しかし封建貴族達は国外亡命し、外国勢力と結託して革命つぶしを狙い、ルイ十六世も他国で王室にフランスを依頼する「売国」的な行為で愛想をつかさね、革命の熱狂ははすみで処刑されてしまふ。

だが、近代国民国家を作り上げるには、国民統合のための中核が不可欠であり、結局それを求めて、その後80年間の間、フランス人は振り子のように共和制と王政・帝政を繰り返す迷走を続けなければならなかった。

5. 明治維新とフランス革命

こうしたフランス革命の遠隔作用のもとになしとげられたと言われる我が明治維新の実態はどのようなのだろうか。ルイ十六世に相当するのは、封建領主の頭目たる徳川慶喜である。

慶喜は外国勢力の介入を排除し、自ら大政奉還を行う。国外から革命をつぶそうとしたフランス貴族と、自らの特権を放棄して四民平等を実現した。そして「王政復古」の形で、皇室を統治の中心に据え、あきらかに近代国民国家建設を果す。

6. 自虐的自画像の押しつけ

とはいえ、いまさら日本人がフランス革命を貶めて、彼らの自画像にケチをつける必要もない。彼らなりに「自由、平等、博愛」を世界に先駆けて唱えた自らの先祖を誇りとし、子孫としてその理想の継承を志す事に異議を唱える権利は他国民にはないのである。

しかし、日本人がこうしたフランス人の自画像を受け売りして、主権在民の精神が日本の憲法に明記されるためには、さらに数十年、昭和二十一年まで待たねばならない。[1, p4]

とまで卑屈になるのは愚かしい。日本人にも、自身の自画像を描く権利があるはずである。フランス人の幸福そうな表情は、自らの自画像に誇りと自信を持ち、そこに現れた先祖の理想を継承発展させようとする所から来るようだ。とすれば、上記のような「自虐的」自画像を押しつけられている現代日本の青少年は、幸福になる権利を奪われているとも言える。

「幸福追求の権利」は日本国憲法第十三条に謳われているのだが。

【参考文献】
 1. 世界の歴史
 10. フランス革命とナポレオン
 桑原武夫編集
 中公文庫 S
 50
 2. 「戦後憲法の原型」とは何だったのか、明日への選択 H9. 8
 3. 私が反日歴史教育に挑んだ決定的な動機 藤岡信勝 正論 H9. 1



「大政奉還図」 柳田丹波筆

国際派日本人養成講座
 発行人=伊勢雅臣(文責)
 Mail: ise.masaomi@gmail.com
 Twitter: https://twitter.com/#!/ise_masaomi
 無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/

本紙土曜日掲載『国際派日本人養成講座』
 著者・伊勢雅臣さん厳選24編
 「世界が称賛する国際派日本人」
 「無敵の日本」
 「古事記」
 「笑顔を征つた若」
 「日本の皆様、靖国神社を守つて」
 (明成社)をもとに書かれた
 著者厳選の24編
 松柏学園長・河村真倫子編
 2巻セットで **R\$ 180** (日本語)
 【問い合わせ】
 TEL: (11) 3340-6060 編集部
 地方発送は日系書店へご注文下さい。



6月29日版

日本のエリートとK-1

Make Apologies History!
Letting the Facts Be Our Guide

日本よ、もう謝るな!

歴史問題は 事実と踏み込まずに解決しない

山岡鉄秀
Tetsuhiko Yamaka

『日本よ、もう謝るな!』(山岡鉄秀著、飛鳥新社、2017年)

全世界のアメ通読者のみなさん、山岡鉄秀です。スタジアムを埋める支持者にトランプ大統領が叫ぶ動画を観ました。「エリートがなんだっていうんだ!」「私は彼らよりずっと素敵なアバウトを持っています!」「私は彼らよりずっとリッチだ!」「私は彼らより頭がいい!」「私は大統領になれたが、彼らはなれなかった!」

「そして私は、この世で最も素晴らしい人々であるあなた方がいる!」(喝采)

トランプさんは名実共にアンチエリートの大統領です。ところで、日本でいうエリートとはどんなイメージでしょうか? 東大出の中央官庁キャリア組というのが典型的なイメージではないでしょうか? そのイメージ

「私は彼らよりずっとリッチだ!」「私は彼らより頭がいい!」「私は大統領になれたが、彼らはなれなかった!」

「そして私は、この世で最も素晴らしい人々であるあなた方がいる!」(喝采)

トランプさんは名実共にアンチエリートの大統領です。ところで、日本でいうエリートとはどんなイメージでしょうか? 東大出の中央官庁キャリア組というのが典型的なイメージではないでしょうか? そのイメージ

「外国人労働者の賃金を上げろ!」

安倍総理の主張で得をするのは誰?

RPE Journal
ロシア政治経済ジャーナル
北野幸伯

6月29日版

「外国人労働者の賃金を上げろ!」と主張する安倍総理は、外国人労働者の賃金を、会社平均賃金に引き上げるようにと主張しています。これ、誰にとってよいことなのでしょうか? 「首相、外国人労働者の賃金確保は、党首討論」読売新聞 6/27(水) 22:15配信

安倍首相は27日の党首討論で、国内の外国人労働者の処遇について、受け入れ先の職場の平均賃金を保証すべきだとの考えを表明した。外国人労働者の不当な処遇を防ぐとともに、外国人受け入れに伴って日本人が職にあぶれたり、賃金水準が低下したりしないようにする狙いがある。この記事を読んで、



カナダでメイ英首相と会談した安倍総理(foto Number10)

「外国人労働者の賃金を上げろ!」と主張する安倍総理は、外国人労働者の賃金を、会社平均賃金に引き上げるようにと主張しています。これ、誰にとってよいことなのでしょうか? 「首相、外国人労働者の賃金確保は、党首討論」読売新聞 6/27(水) 22:15配信

安倍首相は27日の党首討論で、国内の外国人労働者の処遇について、受け入れ先の職場の平均賃金を保証すべきだとの考えを表明した。外国人労働者の不当な処遇を防ぐとともに、外国人受け入れに伴って日本人が職にあぶれたり、賃金水準が低下したりしないようにする狙いがある。この記事を読んで、

メールマガジン
「ロシア政治経済ジャーナル」
発行者 北野幸伯
Copyright (C) RPE Journal All Rights Reserved. 358
アドレス変更・解除は
<http://www.mag2.com/m/0000012950.html>

「外国人労働者の賃金を上げろ!」と主張する安倍総理は、外国人労働者の賃金を、会社平均賃金に引き上げるようにと主張しています。これ、誰にとってよいことなのでしょうか? 「首相、外国人労働者の賃金確保は、党首討論」読売新聞 6/27(水) 22:15配信

安倍首相は27日の党首討論で、国内の外国人労働者の処遇について、受け入れ先の職場の平均賃金を保証すべきだとの考えを表明した。外国人労働者の不当な処遇を防ぐとともに、外国人受け入れに伴って日本人が職にあぶれたり、賃金水準が低下したりしないようにする狙いがある。この記事を読んで、

日本の情報・戦略を考えるアメリカ通信 <http://www.realist.jp>
▼「奥山真司のアメ通LIVE!」番組へご意見・ご感想はこちらから
<http://www.realist.jp/goiken.html>
▼Youtube THE STANDARD JOURNAL
<https://www.youtube.com/user/TheStandardJournal>
▼「THE STANDARD JOURNAL ~『アメリカ通信』」
<http://ch.nicovideo.jp/strategy>
▼FacebookPage: 「THE STANDARD JOURNAL」
<https://www.facebook.com/realist.jp>
★奥山真司への講演依頼・執筆依頼は、
【webmaster@realist.jp】までお問合せ下さい。



EXPOSIÇÃO

EXPOSIÇÃO “TEM- PLOS E MONUMEN- TOS HISTÓRICOS DO JAPÃO”

Onde: InterContinental São Paulo (Alameda Santos 1123, Cerqueira Cesar)
De 21/06 a 24/07/2018
Informações: 11/3179-2600

EXPOSIÇÃO TOYOTA – O RITMO DO ESPAÇO

Curadoria: Denise Mattar
Onde: Museu de Arte Brasileira da FAAP (Rua Alagoas 903, Higienópolis)
De 23/06 a 02/09/2018
Horário: 2ª, 4ª, 5ª e 6ª das 10h às 19h – última entrada às 18h. Sábados, domingos e feriados das 10h às 18h – última entrada às 17h.
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: www.yutakatoyota.com

HISTÓRIAS AFRO- ATLÂNTICAS

Onde: Instituto Tomie Oh-take (Rua Coropés 88, Pinheiros)
De 30/06 a 21/10/2018
Horário: Dia 30/06 (11h às 15h) e 3ª a domingo das 11h às 20h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: 11/2245-1900 ou www.institutotomieoh-take.org.br

AROMAS E SABORES

Artista Plástica Japonesa: Maki Ueda
Onde: Japan House São Paulo (Avenida Paulista 52, Piso Térreo, Bela Vista)
De 05/06 a 30/09/2018
Horário: Terça a sábado das 10h às 22h e Domingos e feriados das 10h às 18h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: www.japanhouse.jp/saopaulo

MUJI POP UP STORE

Onde: Japan House São Paulo (Avenida Paulista 52, Piso Térreo, Bela Vista)
De 19/06 a 22/07/2018
Horário: Terça a sábado das 10h às 22h e Domingos e feriados das 10h às 18h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: www.japanhouse.jp/saopaulo

ARTE ATUAL FESTI- VAL – DEMONSTR- ÇÃO POR ABSURDO

Onde: Instituto Tomie Oh-take (Rua Coropés 88, Pinheiros)
De 18/05 a 01/07/2018
Horário: de 3ª a domingo das 11h às 20h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: 11/2245-1900 ou www.institutotomieoh-take.org.br

TANGO NO SEKKU – SIMBOLOS E TRA- DIÇÕES DO DIA DOS MENINOS

Classificação: Livre
Onde: Biblioteca da Fundação Japão São Paulo (Av. Paulista 52, 3º andar, Bela Vista)
Até 30/06/2018
Horário: 3ª a 6ª das 10h30 às 19h30 e sábados, das 9h às 17h

Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: 11/3141-0110

CHAWAN PROJECT 2018 – 1º ENCONTRO

Onde: Japan House São Paulo (Avenida Paulista 52, Piso Térreo, Bela Vista)
Dia 30/06/2018
Horário: das 11h às 13h
Ingresso: Entrada Gratuita (As senhas deverão ser retiradas 1h antes na recepção)
Informações: www.japanhouse.jp/saopaulo

CASARÃO DO CHÁ – MOGI DAS CRUZES/SP

Onde: Casarão do Chá (Estrada Do Chá cx 05, acesso pela Estrada do Nagao, km 3, Cocuera, Mogi das Cruzes/SP)
Visitação: Todos os domingos das 9h às 17h
Durante a semana visitas monitoradas: Escolas – visitação gratuita; Grupos Turísticos – R\$100,00 até 30 pessoas. Agendamentos 11/4792-2164
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: 11/4792-2164 e www.casaraodocha.org.br

PAVILHÃO JAPONÊS – PARQUE DO IBIRA- PUERA

Onde: Pavilhão Japonês (Parque do Ibirapuera – portão 10 - próx. ao Planetário e ao Museu Afro Brasil)
Visitação: quarta-feira, sábado, domingo e feriados
Horário: das 10h às 12h e das 13h às 17h

EXPOSIÇÃO BANCOS INDÍGENAS DO BRASIL

Onde: Pavilhão Japonês do Parque Ibirapuera – próx. ao Museu Afro e Planetário (Acesso no Portão 3 e 10 na Av. Pedro Álvares Cabral)
De 09/06 a 05/08/2018
Visitação: quarta, sábado, domingo e feriado
Horário: das 10h às 17h
Ingresso: Entrada Gratuita

EVENTO

KARAOKE-DANCE DO NIKKEY CULTURAL

Onde: Iwate Kenjin do Brasil (Rua Tomas Gonzaga 95, Liberdade)
Dias 28/06, 05, 12, 19 e 26/07/2018 (todas as quintas)
Horário: 8h às 16h (Serve Almoço)
Informações: 11/99857-3845 com Iritsu

BAILE ALLEGRO – 2º ARRAIÁ DO ALLE- GRO NO NIKKEY PA- LACE HOTEL

Animação: Banda Celebri-dade.BR e vários Personal Dancers.
Traje: Caipira.
Onde: Nikkey Palace Hotel (Rua Galvão Bueno 425, Liberdade)
Dia 30/06/2018
Horário: das 17h às 22h
Reservas com Beth: 11/3209-2609 e 11/99904-22367 e E-mail: bethpromoter@gmail.com

KARAOKÊ-DANCE NI- KKEY CULTURAL

Pioneiro nessa atividade cujo objetivo é de proporcionar um ambiente familiar onde os frequentadores cantam suas músicas preferidas e dançam ritmos como o chá chá chá, rumba, forró, samba e country. Todos os domingos Baile com Música ao Vivo.
Onde: Assoc. Cultural Tokushima Kenjin do Brasil (Av Dr Antonio Maria Laert 275, 100m do Metro Tucuruvi)
Dias 30/06 e 01/07/2018
Horário: Sábados Karaokê Dance das 8h às 16h e Domingos das 8h às 18h e das 18h às 22h Bailes com música ao vivo.
Informações: 11/99857-3845 com Iritsu

32ª CEREJEIRAS FES- TIVAL 2018 – GARÇA/SP

Onde: Lago Artificial J.K. Williams (Rua Vinte e Sete de Dezembro 394, Williams, Garça/SP)
Dias 30/06 e 01/07/2018
Informações: www.cerejeirasfestival.com.br

ANIME FAIR EMBU – 5ª EDIÇÃO – EMBU/SP

Onde: Ginásio Municipal de Esportes Hermínio Esposito (Al. Fernando Batista Medina 120, Embu/SP)
Dia 01/07/2018
Horário: 10h
Ingresso: Entrada Gratuita

WAKATTA – MÁGICA E JAPÃO

Onde: Teatro Viradalata Espaço Capital (Rua Apinajés 1387, Sumaré)
Elenco: Célio Amino e Luana Tonetti
Classificação: Livre
Dia 01/07/2018
Horário: 16h
Ingresso: R\$20,00+taxas no www.ingressorapido.com.br
Informações: 11/3868-2535

ANIME FRIENDS 2018

Onde: Anhembi Parque (Av. Olavo Fontoura 1209, Santana)
Dias 06, 07, 08 e 09/07/2018
Horário: sexta 12h às 21h, sábado e domingo 10h às 22h e segunda 10h às 20h
Ingressos: www.ticket360.com.br
Informações: www.animefriends.com.br

24º FESTIVAL TANA- BATA DE RIBEIRÃO PRETO/SP

Onde: Morro Alto de São Bento, Ribeirão Preto/SP
Dias 06, 07 e 08/07/2018
Horário: 06 das 19h às 23h, 07 das 10h às 23h e 08 das 10h às 23h
Informações: 16/3617-8988 Assoc Nipo Brasileira de Ribeirão Preto/SP

AOBA MATSURI

Feira de verduras frescas e comidas caseiras.
Onde: Miyagui Kenjin Kai (Rua Fagundes 152, Liberdade)
Dia 07/07/2018
Horário: 9h às 18h
Informações: 11/3209-3265

22º FESTIVAL DAS CE- REJEIRAS BUNKYOS – SAKURA MATSURI – SÃO ROQUE/SP

Onde: Centro Esportivo Kokushikan Daigaku (Estrada do Carmo 801 – Bairro do Carmo – São Roque/SP)
Dias 07 a 09/07/2018
Horário: 10h às 17h
Ingresso: Entrada Gratuita (contribuição por veículo R\$ 30,00 - concorra ao sorteio de uma TV)
Ônibus: em São Paulo, ônibus saindo do Bunkyo (Rua São Joaquim, 381, próx. Metrô São Joaquim). Não são feitas reservas e é necessário retirar o bilhete antecipadamente.)
Contribuição: R\$35,00 (ida e volta)
Informações: 11/3208-1755 SÁBADO (7 de julho)
1º ônibus: saída 8:00h e retorno 16:00h
2º ônibus: saída 8:30h e retorno 16:30h
3º ônibus: saída 9:00h e retorno 17:00h
DOMINGO (8 de julho)
1º ônibus: saída 8:00h e retorno 16:00h
2º ônibus: saída 8:15h e retorno 16:15h
3º ônibus: saída 8:30h e retorno 16:30h
4º ônibus: saída 9:00h e retorno 17:00h
SEGUNDA-FEIRA (9 de julho)
1º ônibus: saída 8:00h e retorno 16:00h
2º ônibus: saída 8:30h e retorno 16:30h

XIV FESTA TANABA- TA MATSURI – BUNKA SANTO ANDRÉ/SP

Onde: Rua Santo André 661 (praça da Igreja Matriz de Santo André), Santo André/SP
Dias 07 e 08/07/2018
Informações: www.facebook.com/tanabatasantoandre

35º FESTIVAL KODO- MO NO SONO

Onde: Rua Prof. Hasegawa 1198, Itaquera.
Dias 07 e 08/07/2018
Horário: 11h às 17h (sábado) e 9h às 17h (domingo)
Informações: no escritório Kodomo no Sono da Liberdade: Rua Galvão Bueno 573, sala 01, 1º andar; Telefones: 11/3208-3949 e 11/2521-6437 e 11/3207-9744; e Site: www.festivalkodomonosono.com.br

FESTIVAL DO TANA- BATA NO RIO DE JA- NEIRO/RJ

Onde: Associação Nikkei do Rio de Janeiro (Rua Cosme Velho 1166, Cosme Velho, Rio de Janeiro/RJ)
Dia 07/07/2018
Horário: 18h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: 21/2558-5991 (Reservas de mesas R\$30,00 não associados e R\$20,00 associados).

BAZAR 20ª FESTA DAS CEREJEIRAS – CDC CONTINENTAL

Onde: CDC Continental (Av Francisco de Paula Vi-

cente de Azevedo 555, Parque Continental/SP)
Dia 08/07/2018
Horário: 11h às 17h

XXV FESTA DA CERE- JEIRA – KAIKAN ITA- PETININGA/SP

Onde: Kaikan Itapetininga (Rod Raposo Tavares Km 168, Itapetininga/SP)
Dia 08/07/2018
Horário: 10h às 17h
Estacionamento: 1kg de Alimento
Informações: 15/3271-3748

CURSO

CURSO HISTÓRIA DO JAPÃO – 2018

Dia 04/08/2018 – História do Japão 5 – Período Edo final – abertura dos portos.
Dia 01/09/2018 – História do Japão 6 – Período Meiji - modernização.
Dia 06/10/2018 – História do Japão 7 – Períodos Taisho e Showa início.
Dia 10/11/2018 – História do Japão 8 – Segunda Guerra e Showa final.
Dia 01/12/2018 – História do Japão 9 – Era Heisei até hoje.
Onde: Associação Cultural Mie Kenjin do Brasil (Av. Lins de Vasconcelos 3352, Vila Mariana)
Horário: 9h às 12 horas.
Inscrições: R\$35,00+R\$3,50(taxa do Sympla) por aula. Inscrições e pagamentos até 03 dias antes da data do curso, na secretaria da Associação Mie ou pelo site culturajaponesa.com.br.
Informações: 11/5549-6857

PALESTRA

COLETIVO DE ARTE DO FESTIVAL DO JAPÃO

Onde: Centro Cultural Aliança (Rua Deputado Lacerda Franco 328, Pinheiros)
Dia 30/06/2018
Horário: 10h às 17h30
Participação gratuita
BATE-PAPO – 10h às 11h – Bate-Papo com Rita Paiva
Participação: Fábio Shin (mangá), Naomi Uezu (kirigami), Thais Kato (orinuno) e Maki Suzuki (shodô)
WORKSHOPS:
11h30 às 12h30 – Shodô (caligrafia japonesa) – Ibaraki Kenjinkai; e Orinuno (origami em tecido) – Thais Kato
13h30 às 14h30 – Kirigami (origami arquitetônico) – Naomi Uezu; e Oshi-ê (quadros em 3D) – Mi Oshiro (World Paper)
14h30 às 15h30 – Etegami (pintura em postais) – Ishikawa Kenjinkai; Origami (dobraduras) – Mari Kanegae
15h30 às 16h30 – Sumi-ê (pintura em preto e branco) – Suely Shiba; Oshi-ê (quadros em 3D) – Mi Oshiro (World Paper)
16h30 às 17h30 – Mangá (desenhos) – Fábio Shin; e Orinuno (origami em tecido) – Thais Kato
ATRAÇÕES:
11h – Aula de japonês com música (Makoto Yoshioka)
12h30 – Show de Taiko (Associação Brasileira de Taiko)
13h – Show de Mágica com Tonni Yokuda
16h30 – Workshop de Teatro Noh (Henrique Yukio)
LITERATURA: Presença dos autores de “Japow” (Jun Sugiyama e Eduardo Capelo), e do escritor Walter Niyama, com “O Mistério dos Suicidas”
Informações: www.festivaldojapao.com ou www.youtube.com/festivaldojapao

週末おでかけ情報

Divulgação de eventos
com Cristiane Kisihara
E-mail: cris_kisihara@hotmail
TEL: 11/3340-6060

Família Imperial (26/06/2018)

Agência da Casa Imperial anuncia planos de noivado da Princesa Ayako

A Agência da Casa Imperial do Japão vai anunciar planos para o noivado da Princesa Ayako.

A princesa é a terceira filha do falecido Príncipe Takamado, primo do Imperador Akihito. Ela tem 27 anos.

Seu possível noivo é Kei

Moriya, de 32 anos, que trabalha em uma grande empresa de transporte marítimo em Tóquio.

Ele e seus pais teriam sido convidados para uma festa na casa da princesa em abril. Fontes informam que a mãe da princesa deu sua bênção ao casal, e que o Imperador

e a Imperatriz também foram informados de seu desejo de contrair noivado.

Autoridades da agência dizem que a cerimônia de casamento será realizada no santuário Meiji Jingu em Tóquio no dia 29 de outubro.

O casamento de membros da família imperial do sexo

masculino requer aprovação do Conselho da Casa Imperial, chefiado pelo primeiro-ministro.

Mas a medida não é necessária para mulheres. Seus noivados se tornam oficiais após uma cerimônia de noivado chamada Nosai-no-Gi.

Diplomacia (26/06/2018)

Premiê japonês mostra reserva quanto a possível retaliação comercial contra Estados Unidos

O premiê do Japão mostrou ter ressalvas quanto à imposição imediata de tarifas retaliatórias sobre importados americanos.

Na segunda-feira, Shinzo Abe afirmou perante uma comissão da Câmara Alta do Parlamento que o mais

importante é evitar que produtos japoneses tornem-se alvo de sanções americanas. O presidente dos Estados Unidos decidiu não isentar o Japão de tarifas sobre aço e alumínio. Donald Trump justificou a medida alegando receios quanto à segu-

rança nacional americana. A União Europeia e a China reagiram às tarifas americanas com ações recíprocas. Abe disse que a retaliação será sempre uma opção, mas que prefere uma estratégia que dê resultado. O premiê comentou ainda a

hipótese do governo Trump exigir concessões nas disputas comerciais em troca de cooperação na desnuclearização da Coreia do Norte ou resolução da questão dos sequestros. Abe disse que jamais vai aceitar permutas.

Diplomacia (26/06/2018)

Japão disposto a enviar especialistas para inspeções na Coreia do Norte

O chanceler do Japão disse que seu país está pronto para enviar especialistas para inspecionar instalações nucleares norte-coreanas.

O ministro Taro Kono deu a declaração à imprensa na segunda-feira durante sua

visita à Indonésia. Desde a cúpula entre Estados Unidos e Coreia do Norte realizada em Cingapura, Tóquio tem insistido que as instalações norte-coreanas devem ser vistoriadas pela Agência Internacional de Energia Atô-

mica a fim de obter progressos na desnuclearização. O governo japonês também se mostrou disposto a arcar com parte do custo das inspeções.

Kono disse que a desnuclearização da Península Co-

reana ajudaria a mitigar o cenário de crise em vários países. Ele acrescentou que é natural que países que se beneficiem com o processo contribuam de diversas formas.

O ministro dos Negócios Estrangeiros observou que o processo de desnuclearização vai exigir um grande número de especialistas, e que o Japão possui conhecimento especializado na área.

Risco de terremoto (26/06/2018)

Painel do governo japonês atualiza projeções de risco de terremoto em todo o país

Um painel do governo japonês atualizou suas projeções de risco de terremoto em todo o país nos próximos 30 anos.

Na terça-feira, especialistas do Comitê de Pesquisas sobre Terremotos divulgaram o mais recente Mapa Nacional de Perigo Sísmico.

Eles revisam o mapa anualmente, com base nos últimos dados sobre falhas ativas e resultados de estudos sobre fortes tremores.

O mapa apresenta as probabilidades calculadas de ci-

dades de grande porte serem atingidas por um terremoto com intensidade mínima entre 5,5 e 6 na escala japonesa que vai de 0 a 7.

As chances de grandes tremores em cidades do leste de Hokkaido aumentaram bastante nas projeções de 2018, seguindo-se a uma reavaliação de atividades sísmicas ao longo da Fossa de Chishima, ao largo da ilha principal de Hokkaido, extremo norte do Japão.

Segundo especialistas, existe risco de um fortíssimo ter-

remoto com magnitude 8,8 ou superior na região.

Cidades da região de Kanto e na costa do Pacífico continuam sendo consideradas de alta probabilidade. Especialistas preveem um possível megaterremoto ao longo da Fossa de Nankai, ao largo da costa do Pacífico das regiões central e oeste do Japão, além da região de Tóquio.

A cidade de Chiba, localizada a leste nas proximidades da capital japonesa, registrou 85% - o número mais alto. Já Yokohama, ao sul de

Tóquio, 82%. E Shizuoka, mais a oeste na costa do Pacífico, 70%.

A projeção para o centro de Tóquio é de 48%. Nagoya, na região central do país, registrou 46%. Esses números quase não tiveram mudança em relação a estimativas anteriores.

Osaka, no oeste do Japão, tem 56% de probabilidade. Na semana passada, a cidade registrou um terremoto com intensidade entre 5,5 e 6 na escala japonesa.

Coreia do Norte (28/06/2018)

Petroleiro da Coreia do Norte e embarcação desconhecida estariam transferindo produtos em alto-mar

A Força Marítima de Autodefesa do Japão detectou um petroleiro da Coreia do Norte e um navio de nacionalidade desconhecida suspeitos de transferir produtos, em violação a resoluções do Conselho de Segurança das Nações Unidas.

Segundo o Ministério da Defesa do Japão, a tripulação de um navio da Força Marítima de Autodefesa confirmou a presença das duas embarcações no Mar da China Oriental, nos dias 21 e 22 de junho.

A pasta afirmou que o petroleiro norte-coreano consta

da lista de sanções da ONU e que o outro navio hasteava uma bandeira parecida com a da China após deixar o local. Disse que as embarcações estavam conectadas por mangueiras e permaneceram posicionadas lado a lado durante várias horas por dia.

O Ministério da Defesa informou o incidente às Nações Unidas. Trata-se do sétimo caso detectado de transferência de produtos de um navio para outro, em violação de sanções à Coreia do Norte.



Estas notícias são produzidas pela NHK WORLD RÁDIO JAPÃO.
nhk.jp/portuguese

Coreia do Norte (27/06/2018)

Coreia do Norte: Japão não deve se intrometer em processo de desnuclearização

Um diplomata norte-coreano afirmou que o Japão não deve se intrometer no processo de desnuclearização de seu país.

O diplomata fez a declaração terça-feira durante a Conferência sobre o Desarmamento, realizada na sede europeia das Nações Unidas em Genebra, na Suíça.

Delegados presentes discutiram a recente cúpula dos Estados Unidos com a Coreia do Norte e a declaração conjunta emitida ao final da reunião de Donald Trump e Kim Jong Un.

Um representante do Japão disse que Tóquio está trabalhando junto com os governos americano e sul-coreano para exortar Pyongyang a se comprometer com a desnuclearização completa, tal como acordado na decla-

ração.

Em resposta, um diplomata norte-coreano lembrou que o Japão não é signatário nem da declaração conjunta nem da Declaração de Panmunjon, assinada na cúpula intercoreana de abril.

Ele declarou que o Japão precisa evitar "se intrometer em assuntos alheios".

Outros países também exortaram a Coreia do Norte a envidar esforços em prol da desnuclearização.

Contudo, o diplomata norte-coreano rejeitou estes pedidos, alegando que comentários que impõem uma pressão desnecessária contra o seu país não podem ser tolerados.

EUA (27/06/2018)

Estados americanos processam governo Trump por causa de política migratória

Dezessete estados americanos e a capital do país Washington processaram o governo do presidente Donald Trump por causa de sua política de separar famílias de imigrantes ilegais na fronteira entre os Estados Unidos e o México.

Os estados entraram com a ação, na terça-feira, exortando o governo a reunir imediatamente as crianças migrantes e seus pais.

Eles chamaram a ordem emitida por Trump, em 20 de junho, para manter famílias migrantes juntas de "ilusória".

O presidente americano assinou a ordem após seu governo sofrer críticas por separar muitas crianças dos

país que entraram ilegalmente nos Estados Unidos a partir de nações latino-americanas. Críticos chamaram a prática de desumana.

Enquanto isso, a Suprema Corte americana manteve a proibição de viagem de Donald Trump para pessoas oriundas de alguns países predominantemente muçulmanos.

Isso derrubou decisões de tribunais de instância inferior que determinavam que a proibição era inconstitucional. Políticas migratórias devem ser um dos principais temas nas eleições de meio de mandato, em novembro.

Aplicativos gratuitos da **NHK WORLD**
TV em inglês em 24 horas

NHK WORLD TV

*Para iOS, Android e Amazon Fire